

## クラーク高校と地域の連携を考えるワークショップ

2月19日（火）、総合進学・スポーツコースの1・2年生を対象に地域活性化のワークショップを行いました。

今回取り組んだテーマは、「納内でデザインしている包装紙の活用方法」と「納内のまちを伝えよう」というものでした。

農村集落活性化支援事業の取り組みの一環として、昨年10月に作成した納内地域を広くPRする包装紙「AWESOME!OSAMUNAI」（協議会員、ボランティア、農協青年部等の似顔絵とコメント入り）について、作成の意図を理解したうえで、どんな活用をすると良いか生徒達にアイデアを出し合ってもらいました。

また、納内のまちのことをだれかに伝えるとしたらどう伝えるか、ターゲットを設定して、その人の知りたいことと必要な情報（ニーズ）を考え、4コマストーリーにして発表してもらいました。

高校生の柔軟な発想で納内の地域活性化につながる良いアイデアがたくさん出ました。そして生徒達にとっては、思考力や協働性などが磨かれる良い機会になりました。

